

## DASH

### DASHの採点法

2002年の春に、the DASH Outcome Measureの採点法を改訂し導入しました。この新しい方法は代数的には元の方法と同じですが、欠損値を扱う際にもっと簡単に効率よくわかりやすく使えるようになりました。以上の理由で改訂された方法を採用して下さるようお勧めします。しかし、結果的にスコアは同じになるので、どちらの方法を使っても大丈夫です。

DASHは二部構成です。機能障害 / 症状に関する質問（30項目の質問があり、それぞれ1-5点が当てられます）とスポーツ / 芸術活動、仕事に関する選択項目（それぞれ4項目の質問があり、各項目に1-5点が当てられています）です。

### 機能障害 / 症状 スコア

点数を計算するためには、30項目中少なくとも27項目に回答してもらう必要があります。答えを得られた回答の点数を単純に合計し平均して、5点満点の点数を出します。その値から1を引き25を掛けて、100点満点に換算します。この換算をすると0-100点で評価された他の尺度と比較しやすくなります。点数が高ければ高いほどより障害が大きいことを示しています。

$$\text{DASH機能障害/症状のスコア} = \left[ \frac{(\text{n個の加算点数})}{n} - 1 \right] \times 25$$

nは回答があった項目数

### 選択項目（スポーツ / 芸術活動、仕事）スコア

それぞれ4項目からなりますが、質問の性質上、回答する人もいれば回答しない人もいます。この選択項目の目的は、プロのスポーツ選手、プロの演奏家、仕事をする人達が、日常生活上では影響がなく、先のDASH機能障害 / 症状スコアではあらわれないが、専門的な活動においてはどの程度の障害があるかを明確にすることです。

上で述べた手順に従い選択の4項目の点数を計算します。点数を計算するためには、4つの質問すべてに回答してもらう必要があります。各回答の点数を単純に合計し4（項目の数）で割ります。それから1を引き25を掛けて、100点満点の点数を計算します。

$$\text{DASH選択項目スコア} = \left[ \frac{(\text{4個の加算点数})}{4} - 1 \right] \times 25$$

### 回答がない項目の取り扱い

もし10%を超える項目（つまり4項目以上）で回答が無記入の場合、DASH機能障害 / 症状スコアは計算できません。このルール（無回答の項目が10%を超えてはいけない）に従い、スポーツ / 芸術活動、仕事のセクションではたった4項目しかないのので、一つの欠損値も許されません。この欠損値のルールは、オリジナルの採点法にも改定の採点法にも適応されます。